

【 第3回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和5年3月28日（火）19:00～21:05

場 所：中標津町役場 3階 301会議室

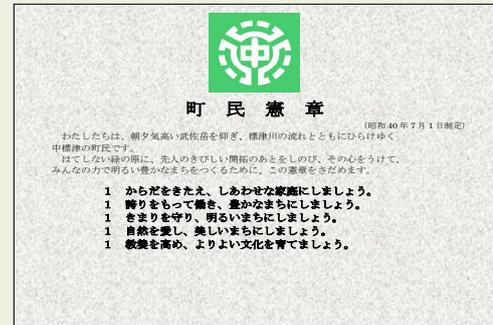
出席者：11名（中標津町自治推進会議委員5名、ファシリテーター1名、オブザーバー1名、事務局4名）

傍聴者：4名

<会議次第>

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題

町民憲章 唱和



- (1) 4年間のスケジュールについて
- (2) 漫画制作について
- (3) 学生（高校生）の参加について
- (4) 中標津町の町民ファシリテーター登録制度について
- (5) 町民ファシリテーターのお試し参加について
- (6) その他

4 閉会

<配付資料>

- ① 資料1：【参考】NoMaps 立ち上げ経緯[省略]
- ② 資料2：「町民ファシリテーター登録制度」の創設と運用について（案）
- ③ 資料3：市民ファシリ等の概要一覧
- ④ 資料4：4つのファシリテーターの違い
- ⑤ 資料5：中標津町の自治と協働のあゆみ

<会議結果報告>

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

[進行：東田ファシリテーター]



※町民憲章唱和

※傍聴人は全員町民ファシリテーターに登録された方であることに鑑み、関連性の深い議題（『（４）中標津町の町民ファシリテーター登録制度について』、『（５）町民ファシリテーターのお試し参加について』）については、傍聴人からも意見を求めている。

（１）４年間のスケジュールについて

東田ファシリテーター

自治推進会議は５年が一つの区切りとなっている。今日が１年目の最後の会議となるので残りの４年をどういうスケジュールで進めていくか、それぞれの議題に沿って考えていく。

模造紙が４枚用意されていて年度ごとで１枚、１２か月分に分けてある。残りの期間で何をやりたいかを青の付箋に、ピンクの付箋には会議の回数、黄色の付箋には細かいタイムスケジュールを書く。

＜委員が分担して付箋を記入＞

東田ファシリテーター

最後の１年間は町長から自治推進会議に対して、自治基本条例で見直したいところはありませんかと諮問を受け、「情報共有」「町民参加」「協働」のいわゆる自治を進めるために何をするか等を話し合い、条例・条件の見直しについて考え、条例改正に向けて答申書を作る。改正の有無にかかわらず自治推進会議として話し合った結果を、会長が代表して答申に行く。改正する場合は議会の議決を得なければならないため、３月の議会に間に合うよう１０月までに見直しを行う。

反対に、間の３年間は緩やかにやりたいことに取り組める年。最終的な条例の見直しに向けて中標津町の自治はどうなっているか、進んでいるのか進んでいないのか、こうしたらもっと進むんじゃないかなど３年間の活動で知っていく。

（２）漫画制作について

委員

広報への掲載回数や掲載ペース、テーマや作成者などについては話し合いで決めていきたい。

東田ファシリテーター

ラフ描きを誰が担当するかも考えなければならない。

予算はいつぐらいに決まるのか。

事務局

やる内容によって予算が変わる。10月前には内容がある程度固まっていないといけない。

委員

5、6年度はテーマを絞ったり、ラフを考えたり、構成をどうするかなど細かい部分を整理する年にして、7年度以降から予算をつけてもらうでもいいのかなと思う。

事務局

依頼する人や金額など規模間はどのようなイメージか。

委員

地元の経験のある方へ依頼することを想定していた。

委員

前回傍聴してくれた方から、インターネット上で仕事を依頼できるクラウドワークスというサイトがあると教えていただいた。漫画製作所というサイトもあるので、そこに依頼してみるのもいいかもしれない。選択肢が増えると思う。

委員

ラフをわかりやすく作れるかによって漫画の完成度が変わってくる。当初は1年間かけての12回と考えたが、作業量が多いため漫画のテーマを絞った方がいいかもしれない。テーマごとに担当を決めてそれぞれがラフを考え、会議に持ち寄って意見を出し合う方法もある。

東田ファシリテーター

5年度の第1回会議が漫画制作についての話し合いだけで終わることは避けたい。

鳴海委員

「町内会」の案は私が作る。テーマを絞るのはみんなで考えていきたい。

委員

制作会社に依頼する場合の相場は1ページで3万円から。

委員

10万円程度の予算規模を想定していた。

東田ファシリテーター

第1回会議から話し合いを進めていこう。

漫画作成に向けて走り出しをしっかりと！

(3) 学生（高校生）の参加について

東田ファシリテーター

高校へ行って話しをして、意見交換、発表を通して最終的に学生参加に結び付ける。イメージとしては5年度中に1回もしくは3年の間で数回実施するのか。また、高校のパターンを変えるのか。

委員

高校生に話を聞きに行くのであれば時間帯は日中が望ましい。

東田ファシリテーター

学校側の負担を考えると意見交換を行うのは平日か土日の昼になる。平日昼だと授業中に聞きに行くことになるが可能なのか。委員、事務局等含めて誰が行くのか。

委員

まず高校にスケジュールを確認しないといけない。

資料1のとおり、No Maps は地域の可能性を切り拓くために新たなビジネスを生み出し、加速させるための場。この中で高校生を巻き込んだ「高校生ビジネスコンペティション」という事業があり、高校生がチームを組み自分の町の特産物等を将来どう生かしていくかについてテーマを考え、プレゼンテーションを行っている。去年は中標津で開催し、中標津農業高校の生徒が参加していた。

そこで、このNo Mapsの企画に自治推進会議として乗っかり、学生が企画書を作成している段階もしくは発表後にどういうイメージが浮かんだか話を聞いてみてほしいかなと思った。

東田ファシリテーター

いきなり高校へ行って自治推進会議のメンバーと話しをしてくださいと申し込むのではなく、そもそもすでに高校との繋がりがあるこのNo Mapsの企画に乗っかるということか。

委員

おそらく6月頃に担当者が高校に出向くと思われるのでその最初のタイミングから会長なり委員の誰かが一緒についていく。

町内でのイベントはNo Maps以外にも色々あるが、学生が将来の町のことをどう考えているかを効率的に聞くにはこのNo Mapsの企画に乗っかるのが一番早いと思う。

他に学生と意見交換できる手法や手段があればそれでもいい。

東田ファシリテーター

意見交換や会議への参加を募るのはもう少し先の話で、まずNo Mapsのメンバーや学生とコンタクトをとろうというイメージか。

誰が行くかは議論しておきたい。

一つ懸念としてはビジネスコンペのテーマが産業だから農高生が参加していたのであって、いきなり自治や協働の話がされても理解してもらえないと思う。No Mapsの方と高校生がその意識だとか繋がりを理解できるよう、チャンネルを持っていきたいこちら側が説得力のある説明をできるだろうか。

委員

高校生の参加については、将来の町のことを若い人たちはどう考えているのか意見を聞いてみたい、結果的に自治に繋がらなくても自治推進会議のメンバーに高校生が入ってくれたらいいよね、ということから話し合いが始まった。

委員

高校生自らが町のことを考え発表する行為は自治に繋がると思うが、話を聞いたあと自治推進会議としてどう生かせばいいのかイメージが湧かない。若者に話を聞いてみたいと思った根底はなんだろう。

委員

これからの町のことを考えるのに年寄りだけが話し合っても仕方ないので将来を担う若者に話を聞こうよというのがきっかけ。

東田ファシリテーター

まず何のために聞きに行くのか、誰にどのくらい関わっていくのかを再検討しよう。
No Mapsの動きも注目しておこう。

(4) 中標津町の町民ファシリテーター登録制度について

<※本間会長より資料2、資料3、資料4、資料5の説明、委員の意見交換>

東田ファシリテーター

静岡県牧之原市は「まちづくり協働ファシリテーター」が正式名称となっている。まちづくりを進めるための人材育成＝ファシリテーターではないので、ファシリテーターだけが協働を進めるわけではなく色々な人材を育成する中で、協働ファシリテーターというファシリテーター職もあると位置付けているのがポイント。

まずは登録制度が本当に必要なのか第2回会議で議論しよう。次に、もし制度を作るとしたらどんな位置付けで作るのか。傍聴人の皆さんにも深く関わることなので積極的に発言してほしい。自分たちの地位や名誉、位置付けが町の中のどこに入るのかをきちんと考えておかなければならないので、未来を見据えて意見交換ができれば。

委員

登録制度に関する条文を組み込むとしたらどの条例に入れるか。役割に入れるのは重い。

東田ファシリテーター

牧之原市では第14条に入っているが、どのカテゴリーの14条かわからない。次の議論までに会長に調べてきてもらおう。

(5) 町民ファシリテーターのお試し参加について

東田ファシリテーター

お試し参加についてはN-CANに登録された町民ファシリテーターの皆さんが、私の立場と入れ替わりこの会議に入り込めばより自治が進むだろうということから始まったが、実際に参加するとなると、5回ほど事前協議しなければ会議に辿り着かないだろうし、最初は私と交代しながら部分的に入り込む形になると思うのでスムーズには進まない。委員や町民ファシリテーター、事務局含めた皆さんがそれに耐えられるか。

それと、参加する町民ファシリテーターが変わりすぎても困る。自治推進会議は長く繋がっているものなので人が変わるたびにゼロから流れを説明するのはとても大変。相応の覚悟をもって参加してもらいたい。

傍聴人

慎重になりたいので第1回、第2回会議は勉強させていただきたい。

傍聴人

広く参加を募るのであれば所々のポイントを町民ファシリテーターが進めて、意見を集約し、最後の結論を導き出すところは東田さんのようなプロのファシリテーターにお願いするのがいいと思う。

委員

所々でもいいのでぜひ関わってもらいたい。町民ファシリテーターという形で町に携わることで新たに気づくこともあると思う。

東田ファシリテーター

登録制度の話を決める際に、傍聴に来られていない方にも意見を聞いてもいいのか確認しておきたい。

それでは第3回会議に向けて進めていこう。

(6) その他

閉 会

- 漫画制作について
 - ⇒町内会編のラフは鳴海委員が担当する
- 学生(高校生)の参加について
 - ⇒再検討
- 中標津町の町民ファシリテーター登録制度について
 - ⇒第2回会議で制度の必要性を改めて議論する
- 町民ファシリテーターのお試し参加について
 - ⇒第3回会議からの参加に向けて進める

